

様式第4のへ (第4条、第5条関係)

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		<b>(1)</b>			
<b>(2)</b>	専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁		床
			その他の壁		屋根
	出入口		(しきい高さ cm)		その他
<b>(3)</b>	タンクの構造、設備	形状		寸法	
		容量		材質、板厚	
		通気管		給油、注油設備	
タンクの固定方法		<b>(4)</b>			
採光、照明設備		<b>(5)</b>			
換気、排気の設備		<b>(6)</b>			
消火設備		<b>(7)</b>			
工事請負者住所氏名		<b>(8)</b> 電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【記入要領】

項目	記入要領
記入方法	各欄の該当しない部分は、「／」、「－」、「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にします。
(1) 事業の概要	貯蔵所が設置されている事業所の事業内容・貯蔵目的等を記入します。 (例) 農機具用燃料の小分け販売業
(2) 専用室の構造	貯蔵所が専用室内に設置される場合にのみ記入します。 なお、その他の欄は専用室の建築面積（小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記載。）を記入します。
(3) タンクの構造・設備	タンクの構造、設備は、次の項目を記入します。 ・ 形状は、縦置円筒型・横置円筒型・角型・楕円型等を記入します。 ・ 寸法は、横置円筒型は内径・胴長・鏡出・全長、角型は縦・横・高さ、楕円型は長さ・幅・高さを記入します。 ・ 容量は、危険物の規制に関する政令第5条第2項に規定するタンクの容量を記入します。 ・ 材質・板厚は、タンクのそれぞれの部分の材質と板厚を記入します。 なお、材質は、JIS規格記号または材料記号を記入することもできます。 ・ 通気管は、タンクに設置される通気管の種別・内径を記入します。 なお、大気弁付通気管の場合は、作動圧についても記入します。 ・ 給油設備、注油設備は、取付けられている給油設備等について記入します。
(4) タンクの固定方法	タンクの固定方法は、車止め・鎖止め等固定方法を記入します。
(5) 採光・照明の設備	タンクが専用室に設置される場合に、その設置される採光・照明の種類・設置個数を記入します。
(6) 換気・排気の設備	タンクが専用室に設置される場合に、その設置される換気・排気の設備ごとに、種別（自然、強制、自動強制）・設備種類・設置台数等を記入します。
(7) 消火設備	製造所等に設置される消火設備について、危険物の規制に関する政令別表第5に規定する区分・設備名・設置数等を記入します。 (例) 第5種消火設備（〇〇消火器10型）2個
(8) 工事請負者住所氏名	工事請負者の住所・氏名・連絡先の電話番号を記入します。 法人は、主たる事業所の所在地・法人名・担当者名・連絡先の電話番号を記入します。